

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.**

(43)Date of publication of application : 12.11.1993

G06F 15/22  
G06F 15/30

(71)Applicant : MITSUBISHI ELECTRIC CORP

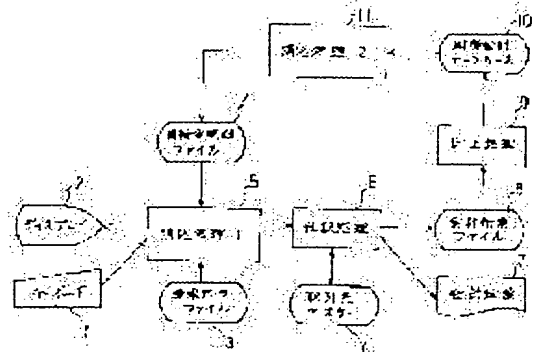
(72)Inventor : HASHIMOTO MASAYUKI

(54) METHOD FOR ERASING ACCOUNT PAYABLE AND INPUT SCREEN

(57)Abstract:

**PURPOSE:** To instantaneously erase an account payable allocation data displayed on an input screen by inputting erasing data to an input column corresponding to each of the allocation data.

CONSTITUTION: While observing the account payable detail data of a specified transaction customer displayed on the screen of a display 2 and visually checking a payment request slip issued by a materials section, an operator checks each of account payable detail data and outputs a payment erasing instruction for data to be erased. In the erased account payable detail data, a transaction customer master 7 is referred, and after setting up a payment condition, journalizing processing based upon automatic journalizing is executed. An accounting slip 7 based upon journalized and formed accounting slip data is issued and allocated to a financial accounting data base 10. Then regular erasing for the paid debt detail data is executed by the allocated payment data and registered as regular erasing data.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C): 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 ( J P )

(12) 公開特許公報 ( A )

(11) 特許出願公開番号

特開平5-298342

(43) 公開日 平成 5 年 (1993) 11 月 12 日

(51) Int. Cl. <sup>5</sup>

識別記号

F I

G06F 15/22

7218-5L

15/30

H 6798-5L

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全 4 頁)

(21) 出願番号

特願平4-106532

(22) 出願日

平成 4 年 (1992) 4 月 24 日

(71) 出願人 000006013

三菱電機株式会社

東京都千代田区丸の内二丁目 2 番 3 号

(72) 発明者 橋本 雅之

鎌倉市上町屋325番地 三菱電機株式会社

コンピュータ製作所内

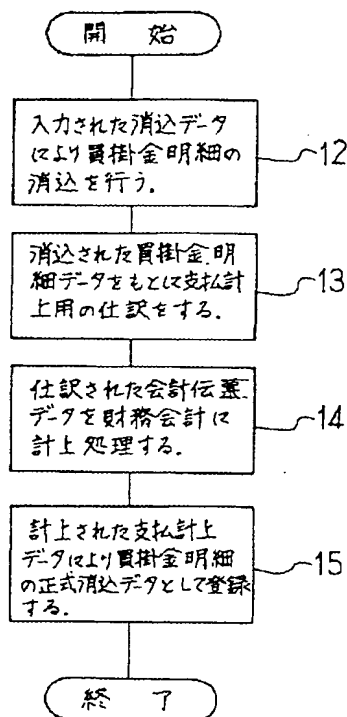
(74) 代理人 弁理士 高田 守

(54) 【発明の名称】 買掛金消込方法及び入力画面

(57) 【要約】

【目的】 財務会計に計上処理後その情報を買掛金明細ファイルに反映させる方法およびその消込データを入力する入力画面を得る。

【構成】 買掛金明細ファイルから呼び出した取引先ごとの買掛金明細データに対しキーボードより入力した消込データにより支払消込指示を行なう第 1 の消込処理と、財務会計データベースに登録された支払計上データにより買掛金明細ファイルの買掛金明細データに正式な消込を行う第 2 の消込処理からなる。



## 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 入力された消込データにより買掛金明細データの第 1 の消込を行うステップ、消込された買掛金明細データをもとに支払計上用の仕訳をするステップ、仕訳された会計伝票データを財務会計に計上処理するステップ、計上された支払計上データにより上記買掛金明細データの第 2 の消込を行うステップからなる買掛金消込方法。

【請求項 2】 表示される買掛金計上リストの複数の買掛金データにそれぞれ対応し、消込データを入力する入力欄を設けたことを特徴とする買掛金消込入力画面。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】この発明は、仕入物件対応の仕入計上に伴う買掛金発生登録処理に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】従来、買掛金の支払は、支払を行なうときに、買掛金の補助簿に記録した買掛金明細に印をつけ、これに基づき支払用の会計伝票を人間が起票していた。この会計伝票を計算機処理による財務会計システムに人間が見て入力し、買掛金の支払計上を行っていた。上記買掛金明細に印をつけるいわゆる消込作業を計算機処理により実施した一例として売掛金処理の場合の特開昭 5 7 - 7 9 5 6 7 号公報に示すものがある。

【0003】図 5 はその消込処理システムの機能を示すブロック図で、図において 1 はデータを入力するキーボード、2 は入力したデータを表示するディスプレイ、3 はキーボードより入力した入金に係る取引データを格納する取引データファイル、4 はキーボードより入力した売掛金明細データを格納する売掛金明細ファイル、7 は未回収の売掛金明細データをプリントした未回収リストである。

【0004】次にこのシステムの動作について説明する。キーボードより消込処理プログラムの起動をかけると、買掛金明細データと取引データとをつき合わせ、取引データにより判明した回収済の売掛金明細データには消込マークを入力して売掛金明細ファイルに再度格納する。未回収の売掛金明細データは未回収リストとしてプリントアウトする。消込によっては、営業で発行した請求書等の書類を目視で確認の上個別に消込む必要がある場合もあるが、その様な場合は、1 件ずつ取引データを再度確認の上消込処理を行うものと推定する。

## 【0005】

【発明が解決しようとする課題】従来の消込処理システムは以上のように構成されているので、確認して個別の消込データを入力した時点とまとめて処理プログラムを起動した時点が異なるため、データを途中で改変される心配があり信頼性に乏しく、かつ、最終的に経理処理を終了し、確定したデータとなっているかどうか売掛金明細ファイルでは判定できず、多目的な利用ができない

という問題点があった。

【0006】この発明は上記のような問題点を解消するためになされたもので、財務会計に計上処理後その情報を買掛金明細ファイルに反映させる方法およびその消込データを入力する入力画面を得て即時に消込を行うことを目的としている。

## 【0007】

【課題を解決するための手段】この発明に係る買掛金消込方法は、入力された消込データにより買掛金明細データの第 1 の消込を行うステップ、消込された買掛金明細データを仕訳するステップ、仕訳された会計伝票データを財務会計に計上処理するステップ、計上された支払計上データにより上記買掛金明細データの第 2 の消込を行うステップからなるものである。またこの発明の買掛金消込入力画面は、表示される買掛金計上リストの複数の買掛金データにそれぞれ対応し、消込データを入力する入力欄を設けてなるものである。

## 【0008】

【作用】この発明における消込処理は、支払指示のための消込処理の後、支払手続完了後に支払確定のための消込処理を行う。また、この発明による入力画面は、表示される買掛金計上データのそれぞれに対応する入力欄に消込データが入力される。

## 【0009】

## 【実施例】

実施例 1. 以下、この発明の一実施例を図に基づいて説明する。図 2 は買掛金管理における消込処理を行うために計算機によるデータ処理システムの機能の流れを示したもので、各処理を表わしている部分は全て計算機による処理を示している。図 2 において、1 はデータを入力するキーボード、2 は買掛金消込入力画面を表示するディスプレイ、3 は買入先が発行した請求書に基づく請求データファイル、4 は買掛金の明細レコードを格納した買掛金明細ファイル、5 は買掛金明細ファイル 4 から呼び出した取引先ごとの買掛金明細データに対しキーボード 1 より入力した消込データにより支払指示のための第 1 の消込処理としての仮消込を行う消込処理 1、6 は消込された買掛金明細データをもとに支払計上用の仕訳をする仕訳処理で、取引先毎に支払条件が設定されている取引先マスター 7 を参照して処理され、例えば現金 30 % 手形 70 % の様に現金分と手形分とに分けて支払伝票としての会計伝票 7 を作成すると共に会計伝票データを会計伝票ファイル 8 に格納する。この会計伝票ファイル 8 は、支払時の会計取引を仕訳したものである。9 は会計伝票ファイル 8 の会計データを財務会計データベース 10 に支払計上データとして登録し、財務会計システムに接続する計上処理である。11 は財務会計データベース 10 に登録された支払計上データにより買掛金明細ファイル 4 の買掛金明細データに第 2 の消込としての本消込を行う消込処理 2 である。

【0010】次にこの実施例の処理の流れについて図1に基づき図2を参照して説明する。オペレータ（図示せず）がディスプレイ2の画面上に表示された指定取引先の買掛金明細データを見て、資材部門が発行した支払依頼票を目視でチェックしながら買掛金明細データ1件づつについて確認し、消込処理の必要なものについて支払消込指示を行なう（ステップ12）。消込された買掛金明細データについて、取引先マスター17を参照して支払条件を設定後自動仕訳による仕訳処理を行う（ステップ13）。仕訳され生成された会計伝票データにより会計伝票7を発行すると共に財務会計データベース10に計上処理する（ステップ14）。計上された支払計上データにより、買掛金明細データに対して支払済の正式消込を行い、正式消込データとして登録する（ステップ15）。

【0011】次に、消込処理1において使用する入力画面について図3に基づいて説明する。16は入力画面全体を表わし、17に取引先をコードで入力すると取引先名が表示されると共に、支払伝票No. 18および買掛金明細19と対応するそれぞれの金額20が表示される。21は消込指示のための消込データを入力する入力欄で、消込しようとする買掛金明細データにそれぞれ対応する入力欄21に「1」（消込指示）を入力する。画面上の全ての買掛金明細データのチェックが完了後、確認入力欄22に「YES」の頭文字「Y」を入力することにより消込処理1のプログラムに起動がかかり、消込処理が行われる。図4の23は、図3に示す入力画面16の変形例であり、消込データの入力欄が画面上の下辺

に水平方向に並んでいる。

【0012】

【発明の効果】以上のように、この発明によれば、支払指示のための消込処理の後、支払手続完了後に支払確定のための消込処理を行い、また、入力画面上に表示される買掛金計上データのそれぞれ対応する入力欄に消込データを入力するように構成したので、財務会計に計上処理後その情報を買掛金明細ファイルに反映させる方法および上記消込データを入力する入力画面が得られる効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明の実施例1の動作を示すフローチャートである。

【図2】実施例1の機能の流れを示すブロック図である。

【図3】実施例1の入力画面を示すブロック図である。

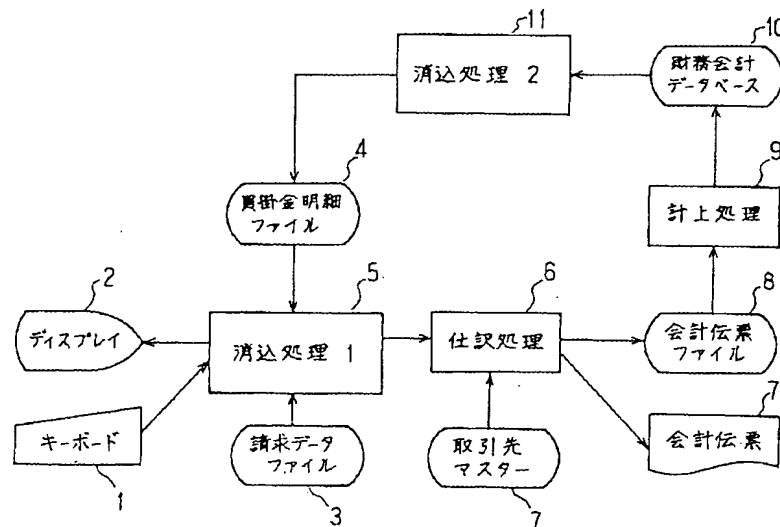
【図4】実施例1の別の入力画面を示すブロック図である。

【図5】従来の売掛金消込システムの機能の流れを示すブロック図である。

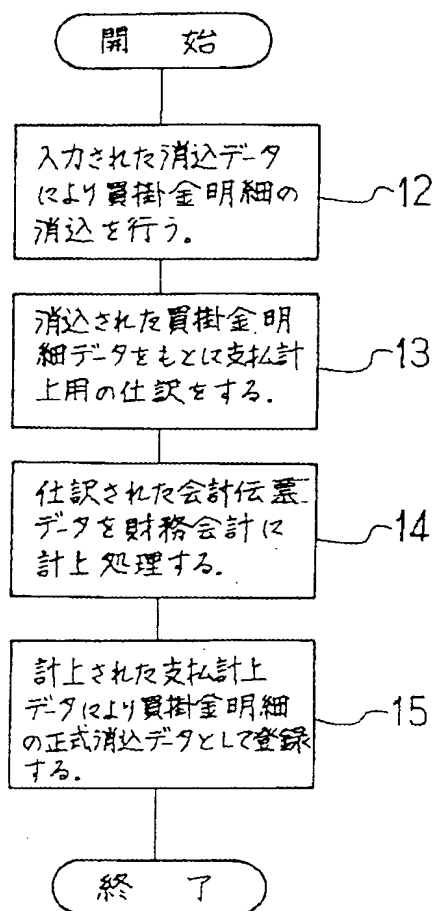
【符号の説明】

- 5 消込処理1
- 6 仕訳処理
- 9 計上処理
- 11 消込処理2
- 16 買掛金消込入力画面
- 21 消込データを入力する入力欄
- 23 買掛金消込入力画面

【図2】



【図 1】

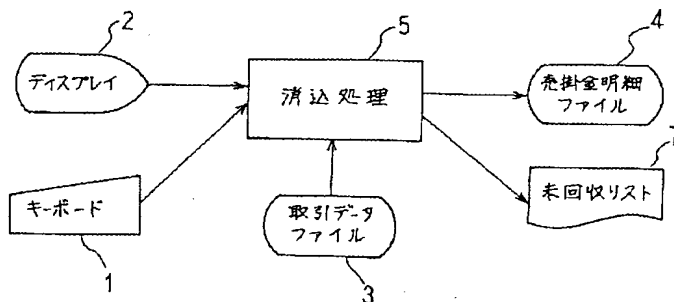


【図 3】

Form layout showing input fields and data structure:

- 取引先 (17)
- 支払伝票 No. (16)
- 19 買掛金明細 (1)
- 20 金額 (1)
- 21 金額 (1)
- 22 金額 (1)

【図 5】



【図 4】

Form layout showing input fields and data structure:

- 取引先 (17)
- 支払伝票 No. (18)
- 19 買掛金明細 (1)
- 20 金額 (1)
- 21 金額 (1)
- 22 金額 (1)